

ECC ジュニアカップ県選手権大会における感染防止対策

岡山県小学生バレーボール連盟

主催者、参加者、全員協力して大会を成功させよう！

《主催者》

1 消毒剤等の準備

- ①会場入り口、アリーナ入り口、トイレ、洗面所には、アルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ②会場内のドアノブ、テーブル、イス、ロッカーの取手等、参加者が触れると考えられる箇所のこまめな消毒をする。(ベンチ、応援席、トイレはチームの協力を得る。)
- ③試合間には、ボール、ベンチのイス、記録席の消毒もする。
- ④受付には透明ビニールカーテンを設置して、人と人との接触を遮断する。

2 換気の悪い密閉空間とならない環境作り

- ・換気扇は常に回し、定期的に窓を開け、外気を入れる等の換気を行う。
- ・更衣室の使用にあたっては、一度に大勢が入室することがないように『入室〇名』という張り紙を掲示し、密集回避を促す。

3 参加者の制限

- ①入場は役員、大会関係者、ベンチ入り選手、ベンチスタッフ、帯同審判員、応援団（一家庭一人）に制限する。
- ②参加者名簿の提出を義務付ける。
- ③入場者には名札（チーム名と名前を記入）を常時身につけさせる。

4 当日の運営

- ①タイムテーブル、入館可能時刻に従いチームを入場させ、会場内の密を避ける。(第1日目) 常に、試合をするチームと補助員チームのみ入場している状態とする。入館までは、熱中症対策としても、車内で待機する。
- ②受付時の対応
 - ・参加者が距離を置いて並べるよう目印をつける。
 - ・各チームがあらかじめ用意した参加者名簿と個別健康調査票を受取り受ける。
 - ・再入場時には名前をチェックする。入り口には常時、担当者を配置する。
- ③試合前後の挨拶
 - ・エンドライン後方に密にならないよう整列し、その場で挨拶をする。
(両手間隔で前後2列)
- ④応援席等の管理
 - ・応援席が密にならないようあらかじめ観客席の数を減らす。(座れない席の表示)
 - ・定期的に会場内を巡回して、感染防止対策がきちんととられているか確認する。
(3密、マスク着用、応援の仕方、手指消毒実施など)

⑤密にならないベンチ設営等

- ・ベンチのイスの間隔も約2メートルとする。

第1日目はイス3脚、2日目は4脚とし、控え選手はベンチ後ろから両手間隔でエンドライン方向に広がる。

- ・ウォームアップエリア内には1人だけ入るようにする。また、エリア内に個別に用意した水筒とタオル、マスクを入れた袋またはカゴを置く。

⑥第2日目 開・閉会式

- ・開会式は、入場行進はなしとし、開・閉会式とも密を避けた位置取りで行う。

《参加者》

1 受付時、参加者名簿と個別健康調査票を提出する。

(どちらもベンチ入り選手、ベンチスタッフ、帯同審判員、応援団全員分)

2 マスクを着用、名札をつけることを徹底する。

- ・プレー以外の場面ではマスクを着用する。ただし、息苦しくなった場合は外して良い。
- ・名札はチーム名と名前を記入し、プレー中以外は常時、身につける。

3 こまめな手洗い、手指消毒をする。

4 3密を避ける。

①応援は隣との距離(できるだけ2メートル)を確保すること。また、大きな声で応援しないこと。

②勝ち残って次の試合まで待機している場合や補助員チームで待機している場合は、密集・密接を避け、大きな声で話をしない。(指定された待機場所を使用する。)

③試合前後のミーティングも3密を避ける。

5 ベンチスタッフ

①試合中、マスクをし、大きな声で指導しない。

②タイムアウトやセット間での指導者の話は、身体的な距離を保つ。

③試合終了後、ベンチのイスを消毒する。

6 使用した施設を消毒する。

①使用した応援席のイスや手すりは、試合が終了して、次のチームと入れ替わる前に持参した消毒剤で消毒をする。

②試合終了後、両チームでトイレの消毒をする。(ドアノブ、手洗い場、便器レバー、プッシュボタン等) 主催者側で用意した消毒剤を使用する。

7 感染防止策の遵守

①主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。

②大会中、体調が悪くなった者は直ちに帰宅する。

③大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等を報告する。